



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年7月5日
文責：校長 江上 知男

本校でもICTが積極的に活用されています！



地球の裏側と交信(3年)



使いこなしています！(2年)

先週の授業参観等中止、本日の遅延登校と、様々な要因で学校の計画を変更させていただいております。保護者の皆様には、見えるところ・見えないところに対応いただき、心から感謝します。

さて、「ICT」という言葉をご存じですか？日本語で言えば、「情報通信技術を利用したコミュニケーション」のことです。嘉島町の学校では、町教育委員会の尽力で導入された全児童分の「タブレット」、全教室設置の「電子黒板」や「実物投影機」などのICT機器及びWi-Fi環境が整備され、授業でICTを積極的に活用し始めています。授業の姿も変わりつつあります。

左上の写真は3年道徳の様子です。「国際理解」の内容で、本校からブラジルの日本人学校に派遣されている森慎太郎先生と子どもたちがオンラインでやりとりしています。右上の写真は2年算数です。授業のまとめの「適用問題」を、タブレットで解いています。全員の回答状況が一目でわかります。

このような「ICT活用」で、子どもたちにどんなメリットがあるのでしょうか。私なりに整理しました。

- ①授業内容の質が広がる：黒板やノートを中心とした授業(これは今後も重要!)にプラスして、画像や映像をふんだんに使ったり、離れた人とコミュニケーションをとったりできる。
- ②興味や関心が高まる：知りたいことが簡単に調べられたり、音声やアニメーションを使うことで興味や関心を持ちやすくなる。さらに、学習の積み重ねが子ども自身に見えやすくなる。
- ③主体的・協働的な学習になる：タブレットをとおして先生や友達とつながり、これまでより自分の意見を表明しやすくなったり、お互いのコミュニケーションを取りやすくなったりする。
- ④視覚的・聴覚的に情報を伝えられる：図を描いたり組み合わせたりすることが簡単になり、通常の学習では伝わりにくいことが分かりやすく・楽しくなり、正しい理解につながりやすい。

子どもたちに、「タブレットの学習どう?」と尋ねたところ、「タブレットを扱うことが楽しい」「すぐに調べられて便利」「文章を書くのに抵抗感が消える」等々の反応がありました。タブレットを使う学習は、基本的に子どもたちは「好き」なので、「学習に集中する時間」は増えると思います。

一方で、ICT活用は「目や姿勢、依存など心身に与える影響」「セキュリティやマナー」等々の配慮すべきことが多々あることも事実です。これらのデメリットは決して避けては通れない問題です。

本校のICT活用は、まだ緒に就いたばかりです。少しずつでも活用の仕方を研究し、これからの社会に必要とされるであろう「正解のない課題を解決する力」を高める一助にしたいと考えています。

5年生が田植えをしました！

7月4日(月)に5年

生が田植えをしました。指導してくださったのは林田さん(鯨)で、山内さん(上仲間)、松永さん(東小校区)と一緒に教えていただきました。林田さんは「自分の子どもが小学生の時から20年ほど協力している」とのことです。子どもたちにとっては最初で最後かもしれない「手植え体験」です。貴重な時間になりました。ありがとうございました。



田植え名人！(5年)